

千葉県一プログラム 3 計測「正確に測ろう！」

1. プログラムの概要

タイトル	計測「正確に測ろう！」
プログラム方式	班対抗で誤差の少なさを競う
プログラム概要	(A) はかりや計量器を使わずに、1 合の米、1 L の水を量る。 (B) 歩測により 2 点間の距離を測る。
プログラムのねらい	①チームワーク、協力 ②身につけた計測法の実践
参加対象・単位	ボーイスカウト（班単位）

2. プログラムの実施条件

実施場所	広場内で指定された場所
参加班の人数	5 人以上 8 人以下 ※実際の班の状況を考慮し 5 人未満での参加も可能とします。 ただし単独の班では競技を進めるうえで必要と考える人数に満たない場合は、2 個班以上で組織される「合同班」での参加も可能です。合同班の場合、合計人数は 8 人以下とします。 (班員の数の違いによるハンデはありません)
プログラム所要時間	約 45 分（準備、後片付け含む。うち競技時間は約 30 分）

3. プログラムの準備

班の持参品	筆記用具、計測に必要なもの
主催者準備品	①袋に入れた米約 8 合（2 合×4 個班分） ②測った米を入れる紙皿 ③5 リットル程度のバケツ×4 個 ④水をすくう容器×4 個（ボウルが望ましい） ⑤1 リットル程度の水を入れる容器×4 個（ボウルが望ましい） ⑥はかり（150 g と 1 kg を正確に測れるもの）×1 ⑦巻き尺 ⑧規制用のひも（スズランテープのようなものでよい）

4. プログラム内容

(1) 競技のルール

(A) 1 合の米、1 L の水を量る

- ① 袋の中の米やバケツの中の水を掬いだし、指定された容器に移します。
- ② 指定された数量（米は1合、水は1リットル）を測れたと思ったら申告し、軽量してもらう。

(B) 距離を測る

- ① 広場の中の適当な2点を指定し、歩測によって距離を求める。（80～100m程度／切りの良い距離でない方がよい）
- ② 求めた距離は回答用紙に記入して提出する。

(2) 競技の進め方

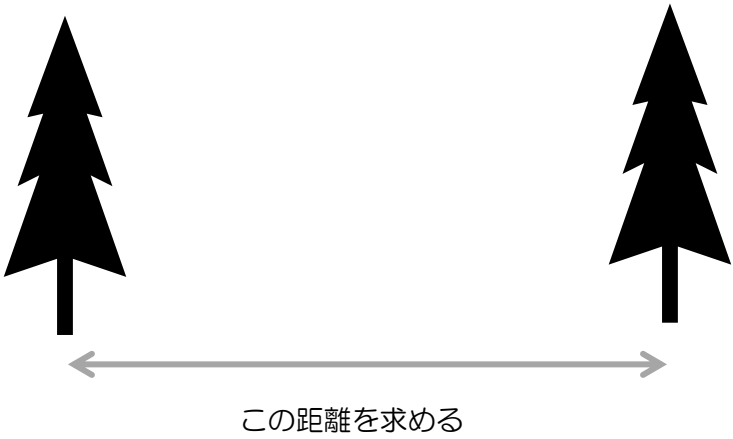
- ① 参加班4個班は競技エリアの外に整列し、A、Bのルール説明を聞く。
- ② A（計量）、B（歩測）の順番は任意とする。『スタート』の合図で競技を開始する。
- ③ A（計量）の回答の測定はスカウトから見えないところで行う。
- ④ B（歩測）は回答用紙を提出させる。正解をもとに誤差のパーセンテージを計算するのはスカウトから見えないところで行う。
- ⑤ 1回の競技（A+B）の制限時間は30分間。（時間内にA、Bとも回答できなかった場合は失格）
- ⑥ 計3つの回答の誤差（％）は小数点以下第1位まで求め（第2位以下は四捨五入）、絶対値の平均を成績とする。
例）5.2％、-2.9％、-12.3％の場合、 $(5.2+2.9+12.3) \div 3 = \underline{6.8}$ が成績となる。

(3) タイムスケジュール

経過時間	所要時間	プログラムの流れ	内 容
0:00	10 分	資材準備	資材を整える
		競技の説明	ルールと進め方を説明する
		競技エリアへ移動	スタートの合図を待つ
10:00	30 分	競技スタート	競技に取りかかる
		回答提出	答えが出たら回答を提出する
		競技終了	すべての競技が終わったら競技終了。 スタートから 30 分の合図で終わっていなかったら失格となる。
40:00	5 分	後片付け・整列	資材をもとあった場所に戻し、競技エリアの原状回復をする。
45:00		解散	

5. 競技イメージ図

(B) 歩測を用い、2点間の距離を測る。



以上